

第 6 回地区庶務担当理事連絡協議会

(平成 29 年 10 月 25 日開催分)

△報告ならびに協議事項

1. 麻薬免許更新申請について

平成 29 年 12 月 31 日（日）が有効期限である麻薬免許の更新手続きの期限が迫っているため、速やかに手続きを行うよう依頼した。

2. 初心者医療事務講習会について

11 月 13 日（月）から府医会館で開催される「初心者医療事務講習会」について、現在のところ、受講人数に余裕があることを説明し、初心者以外の方にも参加いただけるよう呼びかけた。

3. 最近の中央情勢について

9 月から 10 月にかけての社会・医療保険状況について、社会保障費関係予算の伸び 5000 億円増に収めるための検討課題に「診療報酬・薬価改定」が挙げられていること、改定の重点課題として検討されている「地域包括ケアシステムの構築」、「妊産婦の外来管理評価の新設」などを中心に説明した。

4. 京都府ヘリコバクター・ピロリ除菌治療費助成事業について

本事業は、健診等の検査でピロリ菌感染が判明した者に係る除菌治療費及び判定検査費を助成するもので、二千元を上限として助成するものであると説明。助成申請にあたっては、①申請書、②ピロリ菌検査結果の写し、③除菌治療の領収書・明細書の写し等、④住所が確認できる書類が必要となることを説明し、各地区医師会における会員への周知を依頼した。

5. 日医かかりつけ医機能研修制度修了申請について

平成 29 年 12 月 1 日（金）～平成 30 年 1 月 31 日（水）に、修了申請の受付を行うことを説明。申請用紙については、京都医報 11 月 1 日号以降の付録のほか、府医 HP からダウンロードが可能として周知を依頼した。

6. 学術講演会の今後の予定について

11 月に予定している京都府医師会学術講演会を紹介し、多数の参加を呼びかけた。

7. ケーエムエーのお役立ちセミナー -相続対策-

と き 11月18日(土)午後2時30分～4時30分

と ころ 京都府医師会館

講 演 「今しかできない相続対策と今やるべき相続対策」

税理士法人ファミリー 代表社員・税理士 山本 和義 氏

先着50名で、相続対策専門の税理士が伝える相続対策についてのセミナーが行われることを紹介し、多数の参加を呼び掛けた。

8. 医療政策懇談会について

と き 12月16日(土)午後5時～6時30分

と ころ 京都府医師会館

講 演 「平成30年医療・介護同時改定 toward &beyond」

厚生労働省 医務技監 鈴木 康裕 氏

平成30年医療・介護同時改定を控えた具体的な政策の議論等についての講演が行われることを紹介し、多数の参加を呼び掛けた。(京都医報2017年10月15日号(No. 2111)付録参照)

9. その他

なし。

△地区からの協議事項

1. 複数医療機関による在医総管の算定調整について

在医総管の算定は、1人の患者に対して1医療機関のみが算定することとされ、総合的な管理が求められているが、場合によっては複数の医療機関で協働して診る必要も想定されることから、そのような期間においては、双方での合議により、精算して算定することが妥当かどうか、府医としての意見を求められた。

古家府医理事より、在医総管は総合的な在宅療養計画を作成し、継続的な診療を行う必要があるため、月によって主治医が変わることは望ましくないと説明。但し、在宅はチーム医療が中心となり、他科の応援を必要とすることは、多いにあり得るとした上で、現在、中医協で在宅患者訪問診療料の複数医療機関による算定が認められる方向で緩和される見通しとなっていることから、在医総管についても、今後、要件が緩和される可能性があるとの見通しを示した。

2. 三地区合同学術講演会について

上京東部・京都市西陣医師会より、京都北・上東・西陣の三地区合同学術講演会における府医会館使用の可否及び費用、他地区医師会主催の講演会運営における経費削減のための運営上の工夫・対策についての質問が出された。

禹府医理事より、事前アンケート結果による各地区医師会の取り組み状況が報告された後、府医会館の会場使用については、必要な手続きを経た上で、使用可能であると回答した。

3. その他

なし。